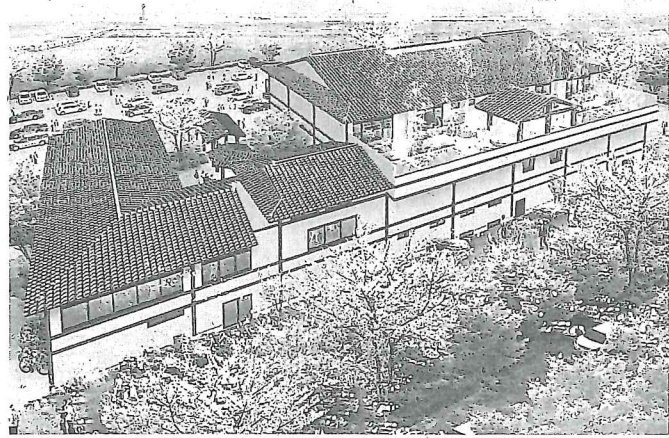


ちば

飛行機見上げいい湯だな

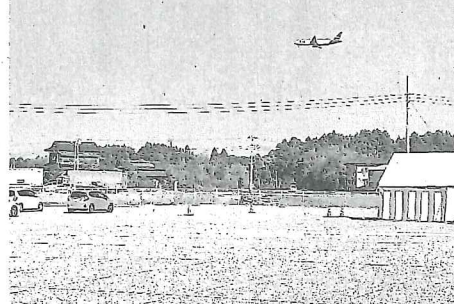
温浴施設、芝山に12月開設へ

憩いの場・観光拠点に期待



成田空港の近くで新しい温浴施設の建設計画が進んでいる。「成田空港温泉空の湯」(芝山町)で、12月にオープンする予定だ。周辺住民や空港従業員、旅

行客らの利用を想定し、「飛行機の見える露天風呂にこだわった」と運営会社。地元は「憩いの場や観光の拠点になる」と期待している。



●「成田空港温泉 空の湯」の完成後のイメージ
三栄メンテナンス提供
①建設地。露天風呂からは飛行する航空機を眺められる予定だ
②芝山町香山新田

運営するのはビルメンテナンス会社「三栄メンテナンス」(芝山町)。空港の機能強化の説明会などで、空港への不満がくすぶる中、「地元の人たちに喜ん

でもらえる施設を」と温浴施設を思い立った。昨年6月から掘削を始め、7月に地下約1千円で温泉を掘り当てた。

建設されるのは空港南側で、芝山鉄道の芝山千代田駅そば。3階建てで延べ床面積は3900平方メートル、約300台収容の駐車場を備える。空を飛ぶ航空機を眺めながら露天風呂に入ることができると。この温泉は筋肉や関節の痛み、冷え性などに効果があるという。

レストランやジム、カプセルホテル、仮眠室を備える予定だ。乗り継ぎ客や早朝利用者の仮眠・休憩場所にもなる。空港と空の湯を結ぶ無料送迎バスを運行させる。大雪で飛行機の運航が乱れた時など非常時には空港利用者の受け入れも担う。

2020年の東京五輪・

パラリンピックの開催を見据えて開業する。機能強化に伴い、将来は近くで3本目の滑走路や新しいターミナルの建設が予定される。近くに住む萩原康宏社長(56)は「空の湯が開業し、周りにもぎやかにって地区が発展するよう頑張っていく」と話す。

町は商業施設や住宅の集まる場所にした考えだ。相川勝重町長は「町としても待望の集客施設。交流の場となり、ありがたい」と歓迎している。

(黒川和久)